

## 令和2年度第1回江田島市総合教育会議 議事録

令和2年11月25日(水)、江田島市役所4階会議室において、令和2年度第1回江田島市総合教育会議を開催しました。

### 1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後1時30分

閉会 午後3時15分

### 2 出席者

#### (1) 構成員

市長	明 岳 周 作
教育委員会教育長	小野藤 訓
教育委員会教育長職務代理者	三 島 雅 司
教育委員会委員	樋 上 美由紀
教育委員会委員	柳 川 政 憲
教育委員会委員	泊 野 仁 美

#### (2) 関係者(教育委員会事務局)

教育次長	小 栗 賢
学校教育課長	山 近 宏
生涯学習課長	松 岡 弘 倫
学校給食共同調理場総括場長	福 岡 洋
大柿自然環境体験学習交流館長	西 原 直 久

#### (3) 総合教育会議事務局

総務部長	山 本 修 司
総務課長	越 野 竜
総務課 総務情報係 主任	花 野 泰 司
総務課 総務情報係 主任主事	名 越 太 樹

### 3 傍聴人

なし

### 4 議事日程

- (1) 議事録に署名する者の決定について
- (2) 報告第1号 令和2年度江田島市教育委員会経営計画(中間評価)について
- (3) 報告第2号 「個別最適な学びの実証研究」について
- (4) 報告第3号 長期休業中の土日開館について
- (5) 報告第4号 令和2年度新規・拡充事業の進捗状況について
- (6) 協議第1号 新型コロナウイルス感染症対策の取組について
- (7) その他

## 5 議事の概要

### ○ 越野総務課長

皆さんこんにちは。それでは、皆様お集りになりましたので、ただ今から、「令和2年度第1回江田島市総合教育会議」を開催いたします。

現在、出席されている構成員は、6名でございます。

本日の議事日程は、「資料1」次第のとおりでございます。

なお、本日の会議には、構成員の皆様にご出席をいただいているほか、教育委員会事務局職員5名、総合教育会議事務局職員4人が出席しております。出席者の紹介は、お手元の「資料2」に代えさせていただきます。

それでは、開会の挨拶を、明岳市長が行います。明岳市長、よろしくお願いいたします。

### ○ 明岳市長

皆さん、こんにちは。

令和2年度第1回目の総合教育会議ということで、委員の皆様方には本当にお忙しい中御出席賜りまして、誠に感謝申し上げます。

この会議は、皆さんも御承知のとおり、市長と教育委員の皆様方が意見交換をし、江田島市の子どもに、より良い子どもになってもらうための会議で、どういったことをやったらいいのかということについて、具体的に御意見を頂戴するという会議でございます。

前回の3月の会議でも、非常にたくさんの意見を賜って、より良い大綱になったと私も思っているんですけども、本日も様々な報告、協議がございますので、忌憚のない御意見を賜りたいと思います。

そして、私事ではありますが、11月1日告示の江田島市長選挙を経まして、12月5日から、また改めて皆様方と一緒に仕事をさせていただくことになりました。心から感謝申し上げますし、私も、次なる任期、懸命に頑張って、この江田島がより良いまちになるように努力してまいりますので、これからもどうか御支援賜りますようお願いいたします。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

### ○ 越野総務課長

ありがとうございました。

これからの議事進行は、明岳市長にお願いしたいと思います。明岳市長、よろしくお願いいたします。

### ○ 明岳市長

それでは、私の方で会議を進めさせていただきます。

なお、この会議は公開となっておりますけれども、残念ながら傍聴の申込みがございませんでした。

それでは、早速議事に入らせていただきます。

まず、「次第2(1)議事録に署名する者の決定について」でございます。

江田島市総合教育会議運営規程第14条第2項の規定によりまして、私とともに議事録に署名をしていただく方を決定させていただきたいと思います。この件につきましては、平成27年7

月21日に開催されました、平成27年度第1回江田島市総合教育会議において申合せを行っておりまして、資料2の名簿の構成員の下の段から順番となっております。よって今回は、三島委員にお願いをしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

また、総合教育会議運営規程第14条第1項の規定によりまして、議事録を作成する者として、総務課の名越主任主事を指名いたします。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、さっそく次の議事ということで、報告第1号でございます。「令和2年度江田島市教育委員会経営計画（中間評価）について」でございます。

内容につきまして、小野藤教育長から説明をしていただきます。よろしく願いいたします。

#### ○ 小野藤教育委員会教育長

それでは、お手元の資料の4ページをお開きください。資料4、報告第1号、「令和2年度江田島市教育委員会経営計画（中間評価）について」でございます。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関しまして、令和2年度江田島市教育委員会経営計画の中間評価の内容を外部に公表するものでございます。詳細につきましては、学校教育課長、生涯学習課長、さとうみ科学館長から説明をいたします。よろしく願いいたします。

#### ○ 山近学校教育課長

それでは、失礼いたします。お手元の資料4～8の部分で、資料4の1ページを手にとっていただければと思います。令和2年度の自己評価表、9月30日現在のものでございます。また、2ページ以降も併せて詳細について記載しておりますので御参照いただければと思います。それでは、中間評価について簡単に御報告をさせていただきます。

1ページを御覧ください。まず、学校教育課分についてでございますけれども、中期経営目標を「信頼される学校づくりを推進する。」とし、短期経営目標を「教職員による不祥事をゼロにする。」として、今年度の評価指標にもございますように、懲戒処分件数を0件とするための取組を進めています。

具体的な取組・方策としましては、各校が実施した服務研修の好事例を、市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。また、5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。などの取組を行っています。

中間報告の状況でございますけれども、9月30日現在、懲戒処分件数は0件でございます。

次に、中期経営目標を「児童生徒の学力の向上を図る。」とし、短期経営目標を「習得した知識・技能を活用する力を向上させる。」として、今年度の評価指標を今年度より実施いたします「江田島市小中学校学力調査の全学年の平均正答率が全国値を上回るようにする。」と設定いたしました。

具体的な取組・方策といたしましては、「授業改善が組織的に推進されるよう、「学びの変革」推進協議会等を活用し、指導助言を行う」などの取組を行っています。

中間報告の状況でございますけれども、今年度の実施時期を令和3年1月に実施を予定しておりますので、現段階では評価することはできない状況でございます。

次に、中期経営目標を「児童生徒の豊かな心を育成する。」とし、短期経営目標を「不登校児童生徒数を減少させる。」として、今年度の評価指標を「不登校児童生徒の割合を小学校では3名以下、中学校では5名以下。」といたしました。

具体的な取組・方策としましては、「不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制の充実が図られるよう指導する」などの取組を行っております。

中間報告の状況でございますけども、9月30日現在、小学校につきましては、4名不登校児童がおり、中学校においても5名不登校生徒がいる状況です。現段階では、今年度の目標値を達成することは難しい状況ですが、今後も教育相談体制の充実を図るとともに、不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、各校の実態に応じた指導助言を継続的に行っております。

次に、中期経営目標を「児童生徒の体力の向上を図る。」とし、短期経営目標を「体力運動能力を向上させる。」として、今年度の評価指標を「体力・運動能力調査の全国平均以上の割合を67パーセント以上にする。」といたしました。具体的な取組・方策としましては、「体育科の授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修等を活用し指導助言を行う」などの取組を行っています。

中間報告の状況でございますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全校で全種目実施することが難しいことから、現段階では評価することはできない状況でございます。学校教育課分の説明は以上でございます。

#### ○ 松岡生涯学習課長

続きまして、生涯学習課分について御報告いたします。

中期経営目標を3点挙げておりますので、それぞれの中間での点検評価について御説明いたします。1点目「魅力ある事業づくりを推進する。」、短期経営目標を「実施事業に対する満足度の向上を図る。」では、生涯学習講演会、人権学習講演会、市美術展、ふれあいコンサートの4事業の「とても満足した来場者割合」を、令和元年度の58.3パーセントから、令和2年度は62パーセントに上げることを目標にしています。9月末までに実施した事業はありませんでしたので、現状での評価はありませんが、コロナ禍により中止となる事業もありますので、実施事業での来場者満足度の向上を図っております。

続きまして2点目「健康づくり、体力づくりを増進する。」です。短期経営目標「公共スポーツ施設の利用促進を図る。」では、令和2年度の目標をスポーツセンターの利用者を2万8,000人、総合運動公園の利用者を1万5,000人としています。9月末での利用者数は、スポーツセンターが8,366人、総合運動公園が8,616人でした。中間での評価は、コロナ禍による施設の休止等もあり、利用者数は伸びていませんが、徐々に回復しつつあります。今後は、感染拡大防止対策に努めながら、利用者が安心安全に施設を利用できるように取り組んでまいります。

3点目「図書館の充実を図る。」です。短期経営目標「図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。」では、令和2年度の目標を貸出冊数82,000冊、来館者を41,000人としています。9月末の貸出冊数は34,709冊、来館者数は13,211人でした。上期においては、コロナ禍による休館もありましたが、例年行っております「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」や、毎月行っております「ミニ図書館」を実施し、利用促進を図っております。今後は、Web予約サービスや窓口サービスの拡充、こちらは貸出、返却についてPRを強化するとともに、先月10月に導入いたしました図書除菌機を活用して、利用者の安心・安全を図っております。生涯学習課分については以上です。

#### ○ 西原さとうみ科学館長

続いて、さとうみ科学館分です。

中期経営目標としては、「さとうみ科学館の認知度を高める。」、短期経営目標は、「さとうみ科学館の利用者の増加を図る。」で、評価指標は来館者数としております。

具体的な取組として、長期休業中の土日開館の実施や、SNSの活用によりPR強化を図りました。中間での評価は、9月30日段階での来館者数で1,189人。目標値に対しては39.6パーセントとなっております。新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、前年度同時期実績1,481人を下回っています。

今後の改善策として、新型コロナウイルス感染症対策を継続して行うことで、利用者の安心・安全を確保し、館内で行う観察会やイベントの実施方法を工夫しながら、今後もPR活動に取り組んでまいります。

以上で、説明を終わります。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございました。

ただいま、「報告第1号 令和2年度江田島市教育委員会経営計画（中間評価）について」の説明を受けました。これについて御質問、御意見等はございませんでしょうか。何でも結構です。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

先月の教育委員会会議で同様の報告を受けておまして、それぞれの立場で皆さんがしっかり頑張っているな、との感想を受けました。今年は新型コロナウイルスの影響でほとんどの目標値を達成できない状況ではありますけども、当たり前なのが当たり前でできない中で、特にこういったことで頑張ってきましたよ、というようなことで、市長さんには是非ここを分かってほしいというようなことがあれば、それぞれ説明をしていただければと思います。

○ 明岳市長

はい、ただいまの三島教育委員の御発言ですけども、学校教育課長からそれぞれ述べていただけますか。

○ 山近学校教育課長

まず、コロナ禍においても学校教育活動をしっかりと再開することです。

本年度は6月1日から学校が再開いたしましたけれども、安全・安心な教育活動の実施、そして学力の向上、不登校児童生徒を生まないということについて、新しい生活様式のもと周知徹底を図りながら、教育活動を進めてまいります。以上です。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございます。松岡生涯学習課長。

○ 松岡生涯学習課長

はい、生涯学習課では、イベント関連に関しましては、コロナ対策という中でたくさんものが中止・延期となっているのですが、各所管施設では、通常に皆さんをお迎えできるよう職員が日々頑張っておりまして、

特に図書館等につきましては、一時期休館しているときも市民からのニーズがたくさんありま

したので、開館後はできる限り除菌等を頑張っていました。図書除菌機が入るまでは返ってきた本を一冊一冊手作業での消毒作業を皆さんがやってくれましたので、今後も皆さんに安全・安心に利用していただける施設としていけるよう頑張っていきたいと思っております。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございます。それでは、西原館長。

○ 西原さとうみ科学館長

はい。来館という意味では、コロナ対策をしながらということですので、通常、触って見てもらうというようなプログラムを行っているのですが、コロナ対策ということで、触れない形での事業となっていて、できるだけ楽しんでいただけるような館内ラリー等と、工夫しながらということで、できるだけ安心して館内を回れるような取組をしております。

ただ、屋外に出て自然体験活動をするというものは重要なポイントですので、7月以降、ニーズに対応できる形で、屋外でのプログラムを心掛けてということで進めております。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございました。それでは、福岡場長はどうですか。

○ 福岡学校給食共同調理場総括場長

はい、私どもでは日算1,300食の学校給食を提供しておりますけども、私どもは、感染が出るかもしれないので、感染者が出たときの対応について、それぞれサポートするようなことができないかということについて、日頃から江田島調理場と、シミュレーションしながら協議はさせていただいております。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございます。三島委員さん、どうでしょうか。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

いいと思います。

○ 明岳市長

そのほか、何かないでしょうか。

先月、教育委員会会議で話をされているのですね。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

最初にあったような概要の説明を受けたということです。

○ 明岳市長

はい。分かりました。

そのほか、何かないでしょうか。

それでは、最後まで結構ですけども、ほかに御質問、御意見がないようでしたら、次の議事に

入らせていただきたいと思います。

報告第2号「個別最適な学びの実証研究について」でございます。

この内容につきましては、小野藤教育長から説明を求めます。どうぞよろしく申し上げます。

○ 小野藤教育委員会教育長

はい、資料5ページをお開きください。

資料5といたしまして、報告第2号「個別最適な学びの実証研究について」でございます。広島県教育委員会から、今年度から2か年、三高小学校におきまして個別最適な学びの実現に向けた実証研究の指定を受けております。その内容を会議で報告するものでございます。

詳細につきましては、学校教育課長から説明をいたします。よろしく申し上げます。

○ 山近学校教育課長

それでは、失礼します。説明資料の10ページをお開きいただければと思います。

そちらに、個別最適な学びの実証研究についてのグランドデザインがございます。現在、三高小学校が、令和2年度と3年度の2か年間、広島県教育委員会から実証研究の指定を受けていることから、実証研究後の三高小学校の学びの特徴等を、学校教育課でデザイン化し、お示しているものでございます。

今後、引き続き三高小学校長とも連携を図りながら、学校の目指す姿や、育てたい資質能力等について共有いたしまして、「自立」、「共生」、「創造性」の三本柱で、イェナプラン教育の学びの特徴を生かした学校づくりを行い、地域の児童や市内の児童が行ってみたいと思えるような学校づくり、また、小規模の特徴を生かした新たなモデルケースとなる魅力的な学校となるよう、県教育委員会やイェナプランの指導を仰ぎながら、研究を進めてまいります。

また、11ページ、12ページには参考資料といたしまして、令和2年3月に県教育委員会が作成しました「個別の状況に応じたカリキュラムの編成・実践に関する提案」を載せています。イメージ図等も示されておりますので、併せて御参照いただければと思います。

説明につきましては、以上です。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございました。

ただいま「個別最適な学びの実証研究」について説明を受けましたけれども、これにつきまして、御質問、御意見等はございませんでしょうか。

樋上委員。

○ 樋上教育委員会委員

意見としてよろしいでしょうか。

私が学校にいた時代とは変わった姿であって、スピード感を持って学校の中身が変わってきていると思っています。考えられないくらいのスピードで変わってきており、ついていけないというのが現実なんですけど、そういう中でこのイェナプランとかGIGAスクール構想について教育委員会で進めていっているのですが、イェナプランにしてもGIGAスクールにしても予算がいることなんですけども、このたびも1億円近いくらいの予算を計上していただいて、全国や県内に遅れをとらないように江田島市が実践しつつありますが、そうした中で、江田島市の子どもたち

の未来像とか、教育委員会や学校への期待とか、市長がどのような思いでおられるのかというのをお聞かせいただければ、また元気が出るのかなと思いますがいかがでしょうか。

○ 明岳市長

教育環境は目覚ましいスピードで動いています。私たちが教育を受けていた頃とは全く違うと思っていますので、とにかくそういう教育環境は他市町に負けないように努力をしていきたいということで、今年も予算を約2億円計上して、GIGAスクールに対応してまいります。

ただ、実際は来年度以降になりますが、私自身がITが不得手なものだけに、子どもたちには早く対応させてあげたいという思いと、子どもたちに日々感動してもらいたいなと思っています。毎日の生活がいかにありがたいことかという感性、感謝の気持ちを子どもたちが持ってもらうことができたらなど、私は常々思っています。上手く言えませんが、自立することも大事であろうし、社会人になったときには独立して家族を養っていかなければならないとか、両親を大切に育てる気持ちを育むことが大切です。そうした部分は少し考えが古いかもしれませんが、二宮金次郎先生の銅像が各小学校、中学校にあるかと思いますが、先人の方々がどんな苦勞をして生活してこられたか等を学んでもらいたいなと思っています。

私はいつも申し上げているのですが、この世に生まれたこと自体が奇跡なんだということを、小さい頃から教えてもらっておけば、もっともっと学べていたのかなという反省があります。命の誕生というのは本当に奇跡みたいなものなので、生まれてきたからにはそれぞれに役割があって、その役割は何なのか自分でしっかりと掴み、中学校を卒業するときには、自分だけでなく、人のために働くことや、感謝の気持ちを持てる子どもになってもらいたいなという思いは強いです。だから、入学式や卒業式にはそういった思いをメッセージとして伝えさせていただいています。

とにかく、これからの時代も、やはり感性、日々感動することを子どもたちに感じてもらいたいと思っています。江田島市ではそういう教育を実践し、さとうみ教育等を通じて、「故郷を知る子どもは故郷を語れる大人になる」といった郷土愛を持ち続けてもらえる大人になってほしいという思いであります。

そういった意味からも、教育委員会の事業は本当に大切だと思っておりますので、教育委員の皆様には御支援いただきたいと思っております。

物足りないという思いがあれば、何なりとお申しつけください。

○ 樋上教育委員会委員

私も同じ考えです。私も古い人間ですので、孔子の論語にあるようなことも大切だと思いますので、子どもたちには、どっちの世界も大事にさせてあげたいというジレンマがあります。教育委員会はこれからもずっとあると思うので、GIGAスクールの面もどんどん進めていかなければならないであろうし、感動の心を大切にすること、今後、教育委員会でも進めていかなければならないなということ、改めて感じました。

○ 明岳市長

ありがとうございました。そのほか、いかがですか。

柳川委員さん。



○ 柳川教育委員会委員

三高小学校は少人数の中で研究を行っていますけれども、切串小学校も小規模の小学校です。そういうところで今後、児童数も減ってくる中で、先進事例としてこういう教育もあるんだよということを、率先して行ったほうが良いですし、成功といえるかどうか分かりませんが、大いに学んで江田島市に生かしていってもらったら良いと思います。

○ 明岳市長

ありがとうございました。泊野委員さん、何かございますか。

○ 泊野教育委員会委員

少子化ということで子どもたちがどんどん減ってきているんですけど、それだからといって学力が低下するというわけではないので、こういったイェナプラン教育等をどんどん取り入れて江田島市でできる教育を進めていってほしいと思います。

○ 小野藤教育委員会教育長

実は今月の10日に、三高小学校にイェナプラン協会の方が、東京から1名、福岡から1名の2名の方が来校されました。その際、先生方と話をしたり、授業を観たり、研究協議をしまして、私も一緒に参加しました。その中には、県教育委員会の担当指導主事も出席していました。

コロナの関係で当初の予定よりも計画はやや遅れていますが、これからはしっかりと研究を進めて、具体的な取組を進めてまいります。

また、三高小学校の保護者の方々も非常に興味を持っておられます。11月と1月には、イェナプランを取り入れた授業参観を行う計画でございます。

そして、先ほど市長からお話があった日本の伝統的な教育についてですが、江戸時代から実践されてきた素晴らしい教育と、現在取り組んでいる新たな教育とのバランス、調和をしっかりと図っていきながら子どもたちの力を伸ばすということが大切だと思います。市長のお話にもありましたように、自立できる大人になるための基礎づくりをしっかりと行ってまいります。

古いものの良さ、新しいものの良さをしっかりと取り入れた江田島市ならではの教育を進めていきたいと思っております。また、市からも財源等の支援をしていただいておりますので、感謝しております。

○ 明岳市長

ありがとうございます。

今、福山市の教育委員会が新聞報道等で問題になっていますが、これもイェナプラン教育に関わってのことですか。

○ 小野藤教育委員会教育長

いいえ、違います。

福山でも常石小学校でイェナプラン教育を実践されていますけれども、その件ではございません。まだ新聞報道しか見ていませんので、どんな発言があったかどうか分かりませんので、この場で具体的な意見は控えさせていただきます。

○ 明岳市長

本当に難しい時代になったと思います。それでは、ほかに御質問等なければ次の議事に入らせていただきます。

報告第3号「長期休業中の土日開館について」でございます。内容につきまして、小野藤教育長に説明を求めます。よろしくをお願いします。

○ 小野藤教育委員会教育長

続きまして、6ページをお開きください。資料6、報告第3号とあります「長期休業中の土日開館について」でございます。

今年度、さとうみ科学館におきまして、長期休業中の土曜日と日曜日の開館について実証実験を実施いたしました。その結果等を会議に報告するものでございます。内容につきましては、さとうみ科学館長から説明をいたします。よろしくをお願いします。

○ 西原さとうみ科学館長

はい、それではさとうみ科学館から「長期休業中の土日開館について」を説明させていただきます。説明資料13ページを御覧ください。

さとうみ科学館長期休業中の土日開館については、利用者の利便性の向上と幅広いニーズへの対応を図るため、市民や来島者が利用しやすいよう施設の休日開館導入を見据えた実証実験を行い、館リニューアル後の柔軟な開館及び運営の在り方など管理運営方策の検討を行うことを目的に、今年度初めて実施したものでございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策による小中学校の夏休み期間の変更に伴い、8月と9月を実施期間といたしました。

実施期間中の主な取組として、3（1）来館プログラムやクイズラリーなど来館対応システムの構築、3（2）休日開館に合わせた人員配置等、運営方策の検討、3（3）広報活動と情報収集を行いました。

結果についてですが、結論から申し上げますと、昨年度の来館者数に比べ、8月、9月ともに倍を超える来館者数となりました。コロナ禍のため、旅行や帰省といった一般的な移動を控える中での数字ですので、実際のニーズをどこまで反映しているかはわからないところもございますが、まずは土日開館のニーズ・効果は、明らかにあるということが実証されたと考えています。今回の結果をしっかりと分析し、今後も引き続き、休日開館導入に向けた管理運営方策の検討を行っていきたいと考えています。

以上で説明を終わります。

○ 明岳市長

ありがとうございました。それでは、ただいまのさとうみ科学館の土日開館についての説明を受けまして、これについての御質問等ございませんでしょうか。

樋上委員さん、どうぞ。

○ 樋上教育委員会委員

また感想みたいになってしまうのですが、さとうみ科学館に対して市長から多大な御理解をいただいていると感じるものがある、とてもありがたいと思っています。このたびのリニ

リニューアルを前向きに考えていただいているということで、本当に期待しているものがあるのですが、ハード面と人的なこと、人員配置についてこれから検討が必要なのではないかと思えます。たくさんの貝殻の寄贈が市外からもある。素晴らしいものを受け取ったものの、限られた人数と時間でどのように整理するのだろうと思いました。ただ、本当に素晴らしいものを頂いたので、リニューアルに向けて色が付いたなと思いました。組織面は財源の問題があるので難しいと思うのですが、頭の隅に置いていただいて、財源確保でさとうみ科学館のバックアップをしていただきたいと思います。西原館長はそこら辺どう思われていますか。

○ 西原さとうみ科学館長

はい、ありがとうございます。

今回の土日開館の実証実験で、より多くの方々に利用していただいたと実感しております。これは、交流人口を増やすという市の政策の中で、市外の方々への対応は今後も行っていかなければなりません。そういう意味でこの土日開館というのは、様々な方への多様なニーズに対応していけるものだと思っております。

一方で、コロナ禍ということもありましたので、来館事業に集中して事業を展開することができたという状況でもありました。従来であれば、長期休業中というのは学校への支援、市内の各種団体への支援など、様々な部署と連携をしながらイベントを開催している時期でありますので、コロナの影響が落ち着いた後、今回のように来館プログラムで多くの方に対応しながら、館外での事業についてどの程度まで対応できるのかと考えると、やはり少し不安な点がございます。今後も幅広いニーズへ対応していくということになりますと、やはり正職員の配置というのは今後検討していかなければならない課題だと認識しております。

今は資格よりも職務に対応できる人材ということで、会計年度任用職員を付けていただいて対応はしているのですが、今後リニューアルを念頭に進めていくに当たっては、市内、市外への対応をしっかり行っていくためにも、どのタイミングでというのがありますけれども、リニューアルには必ず人材が必要となるだろうと考えております。

そのためにも、人員配置の計画を立てながら、土日開館の実証実験を今後も繰り返し行い、どういう割振りが動きやすいのかというところは、具体的なニーズ等に合わせて検討したいと思います。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございました。

○ 樋上教育委員会委員

リニューアルしたら絶対に子どもたちにとっては良いのですが、江田島市にとっても売りになるじゃないですか。さとうみ科学館は本当に存在感が大きいので、綿密に財源、人材も含めて立派なものになるように、教育委員会としても推しておきたいですし、市の支援もいただきたいなと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○ 明岳市長

ありがとうございます。このことについては本当に悩んでいます。先般、江田島市で湯崎知事と私どもの意見交換の場がありまして、さとうみ科学館についても何とか県から支援をいただき

たいという話をさせてもらいました。湯崎知事はさとうみ科学館に来ていただいているのは2回目でしたが、広島県内にはこうした自然科学系の博物館はなく、県内で初のもので是非協力してくださいとお伝えしました。会議の中では、建替えよりも中身を充実させた方が良いのではないかとおっしゃられ、県からの支援は難しいということがありました。しかしながら、江田島市の単独でのリニューアルは非常に難しいですから、当然他団体にも支援を依頼していくことになると思います。

要は、知られていないんですよ。江田島市の小学校5年生は必ず海辺に降りて、生き物を観察しています。市内小中学生たちは海の生き物を描いて、それを毎年カレンダーに残す取組を行っていますが、あれはとても良い活動です。十数年続いていると伺っていますが、市民の方々にももっと知ってもらって、さとうみ科学館は市の独自性がある素晴らしい教育施設なんですよと言ってももらえるようにしなければならぬと思いますので、土日開館というのは是非今後も続けてもらいたいと思います。そういったこともあり、市役所に官公庁の方が挨拶に来られたときには、時間があれば是非行ってみてくださいと案内しています。生きたカブトガニを観る機会なんて都会の方はないことですからすごく感動されています。実は自分自身も現場で所長として、天応にあるポートピアパークを年中無休でやっていたことがありまして、今は休みがあるんですけど、平成12年7月20日の海の日にオープンしたのですが、当時は朝9時から夜の11時までだったんですよ。第三セクターで失敗して、たくさんの方に迷惑を掛けたので、地域に還元してこうということで無料の公園とし、朝9時から夜の11時まで、土日も開けて年中無休にしています。ある程度PRすると浸透しますよね。

西原館長は一生懸命やってくれていて、学会へ論文を出しておられますが、まだ認知度が足りていないので、その辺りの努力もさせてもらいたいなと思っています。これは江田島市の教育の独自色になり得ますので、皆さんと一緒にやらせていただきたいと思います。

泊野委員、何かございますか。

#### ○ 泊野教育委員会委員

そうですね。実際に私もワークショップに参加させていただきました。コロナ対策として一つ一つのものに消毒して、参加者にも消毒して、前もって準備をして本当に大変だろうなと思いました。

8月及び9月の土日で延べ250人程度の方が来館されているようなので、本当にこのワークショップは素晴らしいと思うのですが、来られた方の反響や御意見は分かりますか。

#### ○ 西原さとうみ科学館長

はい、市長からお話がありましたように、まずは知ってもらうということに力を入れてPRしながら、市内市外の皆さんに価値を理解していただくことからリニューアルが始まると感じております。土日開館においてもできるだけ面白そうだと、楽しそうだと思えるチラシの全戸配布を行いながら、改めて館の存在を知っていただくということから取り組みました。子どもを育てていたときには一緒に来ていたけれど子育て世代でなくなったときに関わることが少ないという状況の中で、今回のチラシを見て、久しぶりに行ってみようということでお孫さんを連れて来館されたという声もありました。それから、特に自衛隊の方であったり土日でなければ来れないという方々から、今回土日に開館したことでようやく来れるようになったという声や、来てみて新しいことを知ることができた、こんな展示がしてあるということを知ったという御意見を

いただいたので、まずは来て、観て、体験していただくことが一番重要なんじゃないかと感じました。

さとうみ科学館はこれまでも「来て観て楽しい施設」ではなく、「学びにくる場所」として事業を展開してきました。今の時代ですのでSNSや口コミで拡散していくことになると思いますので、江田島市ならではの質の高いプログラムを提供していくことで、また行ってみようとか、また江田島市に来ていただければと思います。今後も是非いろいろな方に体験して学んでいただきたいと思いますので、いろんな事業を行っていきたいと思います。以上です。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございます。

西原館長、館内にカレンダーが飾ってあって、第1回目から描いていただいている方がいるじゃないですか。その人は現在どこにおられて何をしているか分かりますか。

毎年ずっと出していた気持ちやさとうみ科学館でどのように学んだかについて手紙を書いていたなどして、広報に載せたりするなどのPRをしてもらえればありがたいと思います。

○ 西原さとうみ科学館長

作品コンクールの応募については、小中学校の取組が非常に充実しておりまして、単純に絵を描くだけでなく、本物を見て触らせて描かせたいと考える学校がたくさんありますので、実際に絵を描くときには生き物を学校に持ち込んで、見て触りながら描くようになっています。これも里海教育の一環ということで、地域の自然を知るということに繋がっています。

先ほど市長からお話がありました応募してくれた方は、江田島町の方ですけれども、小学校1年生から中学校3年生まで全て入賞しており、一度追跡調査をしてみたいと思います。

○ 明岳市長

分かりました。

ほかにさとうみの件で御意見等ございませんか。

柳川委員。

○ 柳川教育委員会委員

今度、市内に新しいホテルができます。土日開館することによって、ホテルのお客様に体験型のプログラムを提供するというのの一つのPRになると思います。セットで考えたら良いと思います。

○ 明岳市長

そうですね。本当に喜ばれると思います。

○ 柳川教育委員会委員

是非リニューアルで。

○ 明岳市長

そうですね。本当にその思いはあり、一番良いのは能美町中町に新しい施設ができればホテル

との繋がりが思い描けるんですが。

○ 柳川教育委員会委員

瀬戸内海近辺に似たようなところはありますけれども、成功しているところはメディアもすごく興味があると思います。いの一番でやった方が良くと思います。二番煎じは駄目だと思いますので、是非よろしくをお願いします。

○ 明岳市長

頑張りますので、よろしくをお願いします。

それでは、次の議事に進めさせていただきます。報告第4号「令和2年度新規・拡充事業の進捗状況について」でございます。内容につきまして、小野藤教育長から説明を求めます。どうぞよろしくをお願いします。

○ 小野藤教育委員会教育長

資料7ページをお開きください。資料7報告第4号「令和2年度新規・拡充事業の進捗状況について」でございます。今年度も約8か月が経過し、令和2年度の新規・拡充事業の進捗状況につきまして、その内容を会議に報告するものでございます。詳細につきましては、学校教育課長及び生涯学習課長から説明をいたします。よろしくお願ひいたします。

○ 山近学校教育課長

それでは失礼します。説明資料14ページを御覧ください。新規・拡充事業の進捗状況について、学校教育課分から説明させていただきます。

学校教育課分は、14ページから16ページまでの三つの事業について説明させていただきます。まず一つ目、14ページですけれども「学校施設長寿命化計画事業」の進捗状況についてでございます。

1にもございますように、この事業の目的としましては、今後、学校施設の大規模改修の更新時期を迎えるため、学校施設の効率化を図り、中長期的な維持管理に係る長寿命化計画を策定し、学校別や部位別の優先順位を考え、今後の長期的な整備の方針や改修計画を立てるものでございます。

対象施設は、2(1)にございます16施設が対象です。事業費といたしましては、調査業務と策定業務の合計で610万5,000円でございます。委託業者は2(3)にございます2社に委託し、進捗状況につきましては、調査業務が令和2年12月末までに完了し、計画策定業務は、令和3年3月19日を予定しています。具体的なスケジュールは3の表のとおりでございます。

続いて、15ページを御覧ください。二つ目は「小中学校学力調査実施事業」です。この調査の趣旨といたしましては、学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着状況を把握するとともに、課題を明確にした上で、今後の指導内容や指導方法の改善・充実を図るものでございます。

2にございますように、調査期間は令和3年1月7日から1月15日までの期間で、各校が日程を決めて実施することとしています。調査対象学年及び教科につきましては、3(1)の表のとおりで、小学校1年生から中学校2年生までを対象としております。事業費といたしましては、約111万円で学力調査の採点等は、東京書籍株式会社に委託することとしております。

進捗状況及び今後のスケジュールにつきましては、4の表のとおりで、学力調査結果に基づく改善計画の立案等は、令和3年の2月から3月にかけて行い、次年度の教育計画等に反映させ、効果的に授業改善を行ってまいります。

続いて、16ページを御覧ください。三つ目でございますけれども「小学校トイレ洋式化事業」です。この事業の目的及び内容につきましては、一般家庭や公共施設でトイレの洋式トイレ化が普及していますので、市内の小学校の和式トイレを改修いたしまして、児童の健康面にも配慮し、校舎内のトイレ洋式化率を70パーセント以上にしていく事業でございます。

改修の対象となる学校は、2(1)にある4校が対象です。事業費といたしましては、委託料と改修工事費の合計で約2,402万円、施工業者は、(3)のとおりでございます。

3には、進捗状況及び今後のスケジュールをお示ししておりますが、鹿川小学校及び中町小学校のトイレ改修工事につきましては、当初は2月17日の完了を予定しておりましたが、11月の入札不調により、完了時期は3月にずれ込む予定ですが、何とか年度内には完了したいと考えております。

学校教育課からの説明は以上でございます。

#### ○ 松岡生涯学習課長

続きまして、生涯学習課分について御説明いたします。

説明資料の17ページを御覧ください。今年度、生涯学習課では四つの新規事業を計画しておりました。一つ目がふれあいコンサート事業、これは、本物の芸術に触れる機会が限られたものとなっている市民の皆様に、気軽に高水準の音楽芸能などに親しむ機会を提供することを目的に事業化したものでございます。今年度は新型コロナウイルスの影響により、開催を中止いたしました。

二つ目はふるさと古写真集発行业です。これは、ふるさと再発見事業の一環として古写真集を作成することにより、郷土及びその時代を築いてきた先人たちの思いを学び愛郷心を醸成することを目的に事業化いたしました。現在は、年度内の完成に向けて掲載写真の精査を行っているところで、3月の発行を予定しております。

三つ目は民族文化財継承事業です。これは、地域で古くから紡がれてきた歴史的価値の高い民族文化を、後世に継承させるべく実現化したものです。宮島管弦祭・高田御供御用船行事宮島管弦祭・田頭家大提灯点灯行事という、二つの行事に補助を行います。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、8月6日に予定されておりました管弦祭が中止されたため、行事自体は行われませんでした。

四つ目はパラリンピック聖火・採火式です。これは、東京2020パラリンピック聖火の採火をするに当たり、市民の皆様に聖火作りに関わる体験をとおして、障害者スポーツへの理解度向上及び普及推進を目的に事業化したものです。こちらも、新型コロナウイルスの影響により、パラリンピックが延期となったため、今年度の事業は中止となりました。

表の右端のR3計画に予算計上の記載があり、三つの事業につきましては、来年度も事業を予定しているものです。以上で、生涯学習課分の説明を終わります。

#### ○ 明岳市長

ただいま、報告第4号「令和2年度新規・拡充事業の進捗状況について」の説明を受けました。これにつきまして、御質問等ございませんでしょうか。

- 樋上教育委員会委員  
説明資料1 ページ自己評価表の中で、学力調査について令和2年度欄に記載がありますよね。あとは「一」となっています。これはしないということによろしいですか。
- 山近学校教育課長  
説明資料1 ページでございますけれども、令和3年度以降の目標値が「一」になっています。見直しは行いますが、同じような目標値を今後入れてまいりますので、次年度以降も調査する予定でございます。
- 樋上教育委員会委員  
ということは、次年度以降も学力調査をするということですね。
- 山近学校教育課長  
はい。
- 樋上教育委員会委員  
それならいいのですけどね。1年だけでは何も成果が出ないですし、何年か続けていくことによって学力の向上が図られると思います。1年でやめるのは考えられないと思ったので聞いてみました。ここは続けてもらうように、予算の支援もよろしくをお願いします。
- 明岳市長  
はい。ありがとうございました。  
そのほかございませんでしょうか。
- 三島教育委員会教育長職務代理者  
施設の長寿命化計画は今年度で終わりなのですよ。実施段階で老朽化状況の把握は調査してもらっているようですけども、結果が出たら、例えば来年度早急に対応しなければならないとか、あるいは3年度に対応するといった順位付けがされると思います。そのときには市長が計画通りに進めていただけるものと思いますが、財政状況もあるかと思しますので、計画の柔軟性についてはどのようにお考えでしょうか。
- 山近学校教育課長  
対象の16施設について優先順位が出てまいりますので、基本的にはその計画に基づいて今後改修等を行っていく予定でございます。
- 三島教育委員会教育長職務代理者  
計画通りに進めていただけるということによろしいですか。なかなか難しいとも思うのですが。
- 明岳市長  
行財政改革推進本部会議を開催したりして、これからの財政的な面を踏まえた上で、来年度の



予算について経常経費を10パーセントカットするように各部に通知しております。大変厳しいものです。昨日各部長を集めた会議を開催しまして、今の江田島市の財政状況を共有し、それを踏まえて10年後の江田島市を考えたときにどういう行動をとらなければならないかということで検討を進めています。

ですから、施設の改修等についても財政調整基金でしたり、文部科学省の補助等を踏まえて計画を練っていきたいと考えております。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

今は学校施設について話をしていますが、社会教育施設でも老朽化しているものがたくさんあるかと思います。これについても改修計画は作っているのでしょうか。

○ 松岡生涯学習課長

社会教育系の施設につきましては、まだ長寿命化計画等は策定しておりません。生涯学習課としては来年度に長寿命化計画を策定したいと考えているところで、予算も計上しております。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

これは補助があるのですか。

○ 松岡生涯学習課長

生涯学習課の関連としましては、補助はございません。

○ 明岳市長

よろしいですか。ほかにはいかがでしょうか。

ないようでしたら、次の議事に進めさせていただきます。協議第1号「新型コロナウイルス感染症対策の取組について」でございます。内容につきまして、小野藤教育長に説明を求めます。よろしくをお願いします。

○ 小野藤教育委員会教育長

資料8ページをお開きください。資料8報告第1号「新型コロナウイルス感染症対策の取組について」でございます。新型コロナウイルス感染症対策の取組について、教育委員会の権限に属する事務に関して、協議する必要がありますので、会議の意見を求めるものでございます。詳細につきましては、学校教育課長、学校給食共同調理場総括場長、生涯学習課長、さとうみ科学館長から説明いたします。よろしくお願いいたします。

○ 山近学校教育課長

では、説明資料18ページを御覧ください。新型コロナウイルス感染症対策の取組について説明いたします。1には、本年2月からの学校教育課の主な取組を表にしております。すでに御承知のとおり、3月2日から3月25日まで、市内小中学校を一斉臨時休校とし、今年度に入りましても、学校をスタートさせたものの、4月15日から5月31日までの期間を一斉臨時休校といたしました。6月1日から学校を再開し、夏季休業中も計17日間授業を実施し、現在までは臨時休校することなく、授業を実施することができております。

19ページを御覧ください。2に現在の状況をお示ししていますが、新型コロナウイルス感染症については、今後も長期的な対応が求められることから、各学校においては「新しい生活様式」を踏まえ感染症対策を講じながら、教育活動を推進しております。このことにより、幸いにも各学校の学習指導は充実してきておりますので、今の予定では、年度内に定められた標準授業時数を何とか達成できる見込みでございます。

また、今年度の学習発表会いわゆる文化祭等の実施状況につきましても、10月下旬から11月上旬に予定どおり実施することができました。さらには、修学旅行につきましても、表でお示ししているとおりでございますが、小学校は9月及び10月に実施することができ、中学校につきましても、11月下旬から3月にかけて実施する予定でございましたが、大柿中学校につきまして、直近の情報で2月24日から2月26日までの実施となりまして、香川方面に行く聞いております。ですので、11月下旬から2月の下旬にかけて実施する予定でございます。

今後につきましては、3にもございますように、引き続き、県内及び市内の感染状況を注視しながら、学習保障の観点から、冬季休校中も合計4日間は授業を実施する予定でございます。

学校教育課の説明は以上でございます。

#### ○ 福岡学校給食共同調理場総括場長

続きまして20ページを御覧ください。新型コロナウイルス感染症に係る学校給食共同調理場の対応でございます。調理場といたしましては、学校が再開したときに対応できる体制の確保と、休校時における調理員の雇用の確保を念頭に事業を進めてまいりました。

4月15日に長期休業が決まった際には、放課後児童クラブへの職業のあっせんをしたりしております。それから休校期間が延長となりましたので、学校に対して草取り等の軽微な作業の有無について聞き取りをして、調理員をその都度派遣いたしまして、勤務予定日通りの勤務日数を確保しております。また、5月下旬には定額給付金事務に応援が必要とのことでしたので、5月21日から5月28日まで調理員を派遣させていただきました。

6月から給食が再開いたしまして、先ほど学校教育課長が申し上げましたとおり、冬季休校中及び夏季休校中の登校日等がございますが、登校日には給食の安定供給ができるよう日頃から体制を確保しており、冬季休校中の学校給食の提供の学校の準備を進めていくところでございます。以上です。

#### ○ 松岡生涯学習課長

続きまして、生涯学習課分です。

生涯学習課所管施設につきましては、4月20日から5月20日までの1か月、全ての施設を休止しておりました。6月1日にスポーツセンターのトレーニングルームを開放して以降、全ての施設が開館しております。

放課後児童クラブにつきましては、学校の休業に合わせて、一日開所ということで、午前8時から午後6時まで児童を預かる体制に移行しました。ただ、シフトの関係でなかなか人員がまわらないという状況が起きましたので、給食調理場の調理員さんに助けていただきながら、なんとか一日開所をこなすことができました。6月1日以降は通常業務となっております。

図書館につきましては、4月20日から5月20日まで条件付きで休館し、Webでの予約、貸出しは行っていたのですが、来館されて本を選んでいただくということは、お休みさせていただきました。9月には飛沫防止の亚克力板を設置いたしまして、コロナの交付金を頂いて新た

に図書の購入をいたしました。

資料に間に合わなかったのですが、コロナの交付金を頂いて10月末に図書除菌機を江田島図書館と能美図書館にそれぞれ設置しております、利用者の皆さんに安心して本を借りていただける環境が更に強くなっております。

今後も、検温、マスクの着用、手指消毒、3密回避、定期的な換気等を実施しながら、快適に来館していただけるように努めてまいります。以上です。

○ 西原さとうみ科学館長

続いて、さとうみ科学館分です。説明資料の22ページを御覧ください。

さとうみ科学館では、1(2)にありますように、臨時休館、観察会等の中止を行って、③にありますように、緊急対応のため、会計年度任用職員1名を特別定額給付金室へ異動するなど行ってまいりました。1(3)にありますように、5月20日以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、施設利用を再開、主催・共催事業も7月以降順次再開しております。また、1(3)③にありますように新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用させていただき、消毒用アルコールやサーキュレーターといった施設内衛生環境の改善を図る物品を購入させていただいて、トイレの一部洋式化改修工事等を実施しているところでございます。また、コロナ対策の長期化を見据えて、デジタルコンテンツいわゆる教育コンテンツをデジタル化していくことで、長期の対応を図るための取組を行い、次の備えということで準備を進めております。

今後も県内外の状況を見ながら、引き続き、感染防止対策を講じながら屋外での自然体験活動を中心に事業運営を行っていく予定です。以上で、説明を終わります。

○ 明岳市長

はい、ありがとうございました。

ただいま、協議第1号「新型コロナウイルス感染症対策の取組について」の説明を受けました。このことについて御質問等はございませんでしょうか。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

各学校で具体的にどのような対策を取っているのかということを中心に説明していただければと思います。

○ 山近学校教育課長

先ほども申し上げましたが、基本的には学校における新しい生活様式に基づいてということでございます。まずは3密対策でございます。1クラスで人数が多い学級については、一部の授業について部屋を分けて実施しております。また、毎日の消毒についてですが、これは教職員が行うのではなく、スクールサポートスタッフ等の方々が実施してくれております。消毒作業、部屋を分けることができる場合は分ける、手洗い、マスクの着用等、給食配膳中も掃除中も最大限の配慮をしながら学校経営を行っていただいております。

付け加えまして、子どもたちの日々の検温や、教職員についても検温して日々記録を残しております。以上です。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

体育の授業のときは、屋内でやることもあると思いますが、外でやるときにマスクは外しているのですか。それとも着けたままなのですか。あるいは外から帰ってきたときに教室に入る前にそれぞれ消毒するのか、どうでしょうか。

○ 山近学校教育課長

体育につきましては、屋内の場合も外の場合も一定の距離が確保できますので、基本的にはマスクは外しております。しかし、教室に入る前には手洗い、うがい等を励行しております。

○ 明岳市長

放課後児童クラブはどうでしょうか。密集していませんか。

○ 松岡生涯学習課長

全員が室内で過ごすわけではなく、外で遊ぶ子もいれば中で勉強する子もいます。全員が室内に集まることがないようにしています。また、定員はありますが、定員に達するようなことはございませんので、密というところまではいきません。

○ 明岳市長

そのほかございませんか。泊野委員、何かございませんか。

○ 泊野教育委員会委員

今年はコロナでいろいろな行事が中止になったりしていますが、最近文化祭等は少しずつですが再開できているように思えます。来賓では行けなかったもので、どのように発表されたのか教えていただけますか。

○ 山近学校教育課長

私どもは手分けをして全ての学校の文化祭を回ってまいりました。そのときの様子でございますけれども、基本的には子どもたちもソーシャルディスタンスです。観覧する際も席を1メートル以上離しております。合唱などステージの上で大きな声を出したりするような場合はマウスシールドで対応したり、学校によっては指揮者との間に上からシートを垂らしたりして、感染しないように対策を十分にとりながら、観覧していただく方々の距離も確保しております。また、会場が広い学校においては、2階の観覧席も利用していただき、換気も十分に行い実施されてきました。

○ 明岳市長

ほかに御質問等ございませんか。なければ、次の議事に進めさせていただきます。「その他」になります。本日の会議で何か協議又は調整しておくべきことがありましたら、遠慮なく御発言いただければと思います。

樋上委員からはさとうみ科学館に対する人配を踏まえて要望がありました。三島委員からは学校の長寿命化計画における計画的な改修工事についてお話がありましたが、そのほかありましたらお願いします。せっかくの機会ですので。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

先ほど学力テストの話がありましたけれども、これは継続して10年くらいやらないと、とても効果は出てこないと思いますので、市長には十分に御理解いただいて、来年度以降の予算についても御配慮いただければと思います。

○ 明岳市長

はい。分かりました。

ただ、3月に結果が出ても遅い感じがしますね。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

これは今年度が初めてですので改善の余地があると思いますね。去年までの全国学力テストは学期が始まってすぐ実施されていたと思うのですが、それを踏まえてどう改善されるのかなとは思っています。

○ 明岳市長

今までやっていたテストとは違うということによいのですか。よく全国テストでは秋田県等の教育水準が高いという話が出ていますがいかがでしょうか。

○ 山近学校教育課長

例年実施してきました小学校6年生と中学校3年生を対象とした全国学力学習状況調査、これは毎年4月に行われております。ただ、今年度はコロナの影響で中止となりましたけれども、予定であれば来年度以降は4月に行われます。

市の学力調査は、今年度が初めてなのでこの時期の実施となりましたけれども、実施時期は今後も検討してまいりたいと思います。

○ 明岳市長

2月と3月の教職員の方々の業務というのは大変忙しいと思います。そういう中で次年度の教育計画の指導改善に、この結果を踏まえてそれぞれ個々の子どもたちに合う方針を立てていくのは大変だと思います。

○ 山近学校教育課長

各学校のテストの採点業務や結果のデータ送付は業者が行います。それらを全て市で集約して強み、弱みを分析して、次年度にどこをどのようにやっていくのか、いわゆる採点結果に基づく説明会を実施して改善計画を立案していくという流れになります。実施時期は今後検討してまいります。

○ 明岳市長

ほかに何かございませんか。

○ 柳川教育委員会委員

少し違う話になりますが、江田島市は人口が年間500人減でしたよね。子どもの人口も同じように減っていくのでしょうか、10年後、20年後の人口減と子どもたちの減少の試算は出ているのですか。学校運営ができるほどの生徒数に達しているのですか。学校運営ができる生徒数の限界点というのがあると思うのですが。

○ 明岳市長

単純に計算したら、10年経ったら5,000人減りますからね。今人口が約2万2,400人ですから。10年したら1万7,000人。ですがそのときでも児童生徒はいて、今の四つの中学校をそのままにできるのかということはあると思いますので、どうしても次の展開を考えていく必要があると思います。

○ 柳川教育委員会委員

耐震化はしていかなければなりません、築40年が経ったものは老朽化で建替えか耐震をしなければならぬ。果たして投資したものが10年後、20年後、30年後に機能しているのかということも考えてしまいます。現在、財源の問題があるので、何でもできるのであればいいですけど。そのしわ寄せが住民に来るのは間違いないですから。個人的には、その辺りのことも十分に考慮して投資をしていかなければならないのかなと思います。

○ 明岳市長

柳川委員がおっしゃるとおりです。合併して16年経過し、17年目に突入しましたけれども、サービスは合併時の各町のいいところを採っており、サービスは良く、負担は軽くというスタンスで取り組んできたのが今の状況でございます。なので、下水道の使用料金も上げておりませんし、その分は一般会計から下水道事業会計に繰り出しています。これも税金の一つです。そこら辺りも踏まえて、今後は市の財政状況を職員だけでなく市民の方々にお知らせしなければならないという思いです。

冒頭でも申し上げましたが、今職員にそれを共有する段階です。次なる手は、各地域の方々、女性会や老人クラブの方々に、江田島市はこういう状況ですとお伝えし、市民の皆様はサービスの受け手であると同時に、江田島市を運営する経営者の一人でもありますので、そこら辺りを共有したいです。今後、次なる子どもたち、孫の代のために市を存続させるために、江田島市はこのように考えているということを説明に行かせてもらいたいなと思っています。

市民の数も減ってくる中で、今まで16年間、運用でやってきましたが、今後は経営に力を入れて取捨選択をして、市民全体を考えた上での予算計上になってくるかと思っています。これはどうしてもやっていかなければなりませんし、予算の経常経費10パーセントカットとなると、まちづくり協議会や自治会、老人クラブの補助金も考えなければなりません。今までは減らしておらず、どんどん増えてきています。そこらを踏まえて説明をさせていただきたいと思っております。

柳川委員が心配されている学校の統廃合についても、もう目の前に来ていますから、次なる計画を作る時期だろうと思います。来年にするとかそういった話ではなく、とにかく三高中学校を何とかしなければならぬ。市長に就任したときに皆さんと協議した中で、三高中学校は能美中学校に統合して、たくさん子どもと学ぶのが良いとおっしゃっていただいて、これに取り組んで4年が経過しましたが、あまり動いていないのが現実です。ですが、もう待てない状況だと思います。私も積極的に地元に行かせてもらって、来年度には理解を求めて必ず実現したいと思っ

ています。山近課長，そこは今どういう状況になっていますか。

○ 山近学校教育課長

先般，11月6日でございますけれども，三高小中学校PTA運営委員会の皆様と私どもとで懇話会を開かせていただきました。運営委員の皆様が10名，存続を求める会の代表の方が2名，そして私どもで話をしました。

基本的には，これまで教育委員会が取り組んできた経緯等も説明させていただきましたし，今後の三高中学校及び三高小学校の児童生徒数を数字でお示ししました。さらに，能美中学校と統合した際の人数やクラス数もお示ししました。また，現在三高小学校で実施している個別最適な学びの実証研究についても丁寧に説明するよう要望を受けましたので，これについても説明し，その後に質疑応答を行いました。

これまでは，常に話題は耐震化，過去に遡っての話が中心でした。もちろんそれについてもQ&Aを作成し，紙面で回答していますけれども，そうではなくて，新しい三高小学校の低学年の保護者の皆様や，新しい方々の御意見を広くお伺いしたいということで，この会を開かせていただきました。

そうしたところ，やはりICTの現状でしたり，小学校での研究が中学校に結び付くのかといったことや，それを実施したときに進路面はどうなるのか，というような御意見を頂きました。また，路線バスについてもお話がありました。もし能美中学校に行くとなれば路線バスになりますが，便の都合が悪いときにはスクールバスを使うなどの具体的な点が話題の中心となりまして，説明及びそれに対する質疑応答を繰り返しました。また，三高地区独自で行っている地域学習について，能美中学校に行ったらできなくなるのではないかという御意見もいただきました。これについても，牡蠣学習等はやろうと思えば実施できる旨を回答いたしました。そういったお話をさせていただく中で，約2時間の懇話会を終えました。

この件については，今後，PTAの中で話し合わせ，令和3年1月には小中学校の保護者を集めて全体での懇話会ができないかとの提案をいたしまして，次回の開催時期を調整する流れとなっております。

○ 明岳市長

ありがとうございました。かなり前に進んできています。聞く耳を持っていただけの方が出てこられたのかなという印象です。何とか地元の方に納得していただいて，来年度には協定書を交わして実現できるようにしたいなと思っています。そこから次なるステップが始まるのだらうと思います。

このことについて御意見はございますか。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

努力していただいて，話が進んだような印象を受けましたけれども，なかなか一筋縄ではいかないと思います。若い保護者の方の意見がもっと強くなればと期待します。反対する地域の方や，来年卒業する子どもの保護者や，どちらでも良いが反対される方がいるでしょうが，将来自分の子どもがこの状況で良いのかと考える若い保護者の方の意見を聞ける場があればいいと思います。ただ，全体で実施するとなるとこのような意見は出てこないと思います。

○ 明岳市長

遠慮がありますからね。私も個別ではこのような意見を聞きます。ですが、このような場になるとそのような発言が出ないのが実態ですね。

○ 小野藤教育委員会教育長

私もこの件について取組を行う中で、地域で反対している人たちの思いのうち、学校がなくなれば地域が寂れるというのが一番強い意見です。どちらかといえば、子どものことよりも地域のことを主にいわれます。

しかしながら、保護者にとっては自分の子どものことが中心ですから、しっかり保護者の思いを受け止めながら話を進めていきたいと思います。ただ、地域の声も無視できません。

今回、小学校で個別最適な学びの指定を受け、子どもたちのための新たな教育を実施しているということで、地域の方も教育委員会や市が三高の子どもたちのことを考えてくれていると調べておられます。

三高小学校は人数が減ってきて、これまでの経緯を踏まえると統合の対象になってくるわけですから。魅力及び特色のある学校にすれば、大きく人数が減らないということも想定されますので、地域の方もそういう思いで動いてくれていると思います。

1月6日の懇話会では、地区の自治会長と前PTA会長の2名が来られていましたけれども、その2名の前で、統合に向けた意見等があったら遠慮なく申し上げてほしいと挨拶しました。二人もそれについては了承していただいていた。

保護者の中には、通学方法、スクールバス、統合後の教育カリキュラム等について質問ができました。また、耐震化されていないので不安だという意見も頂きました。耐震化はしないので、一刻も早く安全な能美中学校に行ってほしいという話もいたしました。このように、今までと違う質問や意見が出てきましたので、是非全体に広げてこういった声を聞いていきたいと思っています。

○ 明岳市長

バス通学については、市がきちんと用意するという事は伝えているんですよ。

○ 小野藤教育委員会教育長

はい。切串を例に挙げまして、江田島中学校長をしていたときに、切串の子どもがスクールバスで通ってしまっていて、当時統廃合をする際に子どもが一人でもいたらスクールバスを出すという約束をしました。現実には、一人しか子どもがいなくてもスクールバスを出していたという話もいたしました。子どもたちがしっかり通学できるようにいたします。また、夏休みは部活動の時間が昼頃になりますので、そこら辺りの対応を丁寧に行うつもりであるという話もしました。

○ 明岳市長

イノシンが出るので怖いという話も聞いていますから。この点は、市が責任を持って通学できるようにするという話ですよ。

地域が寂れるということと教育というのは全く違うのではないかと思うのですが、難しいですよ。小学校や中学校があるから活性化につながるかといったら決してそうではないですから。まあ、1月の状況を踏まえて頑張っていきましょう。この件で一番考えなければならぬのは三高中学校の生徒のことだと思っていますので、早くしてあげたいですよ。



そのほか、皆様方何かございませんか。

ないようでございます。それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。長時間にわた  
りましてありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

○ 越野総務課長

皆様、今日は誠にありがとうございました。それでは、以上をもちまして令和2年度第1回江  
田島市総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。

江田島市総合教育会議運営規程第14条第2項の規定により、ここに署名する。

江 田 島 市 長 明 岳 周 作

教育委員会教育長職務代理者 三 島 雅 司